

# 島根県カヌー協会

## —— これまでのあゆみ

島根県カヌー協会は昭和57年に島根県で開催された「くにびき国体」でカヌー競技が初めて正式種目として採用されるのを契機に、カヌースポーツの普及振興と選手強化を目指して昭和54年4月に発足した。

当時、カヌー競技は全国的に未普及であり、強化方法も手探りでボート競技のトレーニングなどを参考にしながら選手強化が進められた。

くにびき国体は、スラローム・ワイルドウォーター競技が旧大和村、旧羽須美村、レーシング競技（現スプリント競技）が旧邑智町を会場地として開催され、当時の監督・選手や会場地の関係者の並々ならぬ努力によってカヌー競技総合優勝を果たすことができたのは大変名誉なことであった。

その後、カヌー競技は国民体育大会の各種目において着実に上位入賞できる選手を育成し、平成8年の広島国体ではワイルドウォーター競技で二上英紀選手が見事に優勝を果たすなど島根県の競技得点の獲得に貢献してきた。

またスプリント競技（旧レーシング競技）では旧邑智高校（現在は島根中央高校に統合）に昭和55年にカヌー部が創設され、地域に密着した選手強化を進めつつ、平成2年には出雲農林高校にカヌー部が新設されたことで両校が切磋琢磨しながら、近年では全国高校総体・国体等の全国の舞台での優勝者・入賞者を数多く生み出しており、日本国内での活躍はもちろん、毎年のように日本代表として世界を目指す選手を送り出している。

## —— 現在の状況

島根県では、令和7年度全国高等学校総合体育大会の



令和4年世界ジュニア選手権 女子K2 三島まりあ選手⑥ 橋本寧々選手



令和5年かごしま国体 少年男子K2 植出土虎選手⑥ 河野賢晃選手

カヌー競技を主管するため、島根県や会場地である美郷町のご協力をいただきながら準備を進めており、美郷町のご尽力により令和6年10月に美郷町江の川カヌースプリント競技場「カヌーパークみさと カヌーレIMA」が完成した。

また、2030年には島根県で島根かみあり国スポが開催されるため、選手の育成強化や大会運営に必要な公認審判員の育成が急務となっている。

ここ数年、スプリント競技は島根中央高校、出雲農林高校の2校が全国的にも優れた成績をあげ、世界を目指して活躍する選手も出てきており、県の強化指定校制度の支援を受けて、より一層の強化を期待している。一方でスラローム・ワイルドウォーター競技については、指導者や選手の高齢化や人材不足により選手強化に苦戦しており早急な立て直しが必要である。

美郷カヌークラブ、出雲カヌークラブ、松江カヌークラブ、益田市カヌー協会で行われているジュニアの育成を足掛かりにして、次世代の選手発掘を進めるとともに、県外の優れた選手の誘致なども視野に入れた取り組みを進めたい。

## —— これから

ここ数年で全国規模の大きな大会の開催を予定しているが、島根県や島根県スポーツ協会、開催地である美郷町、競技団体が一体となって大会運営に万全を期したい。また、美郷町に設置された艇庫やコースなどの施設を活用して全国規模の大学生大会などを招致し、将来的にも全国のカヌー選手が率先して使っていただける「カヌー競技の聖地」になるよう競技団体としても美郷町と連携していきたい。



平成29年インターハイ 男子C2 中尾一稀選手⑥ 中尾勇稀選手



令和5年かごしま国体 少年女子K2 品川聖奈選手⑥ 宮本光姫選手